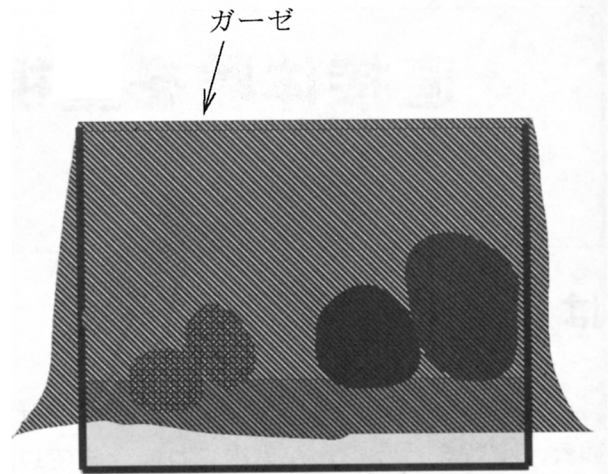


与えると、よく食べて穴をあけ、その中にもぐり込んですみかになる。

- (6) 観察しないときは、しめらせたガーゼを水槽にかけ、直射日光が当たらないように、流しの下などの薄暗いところに置く。

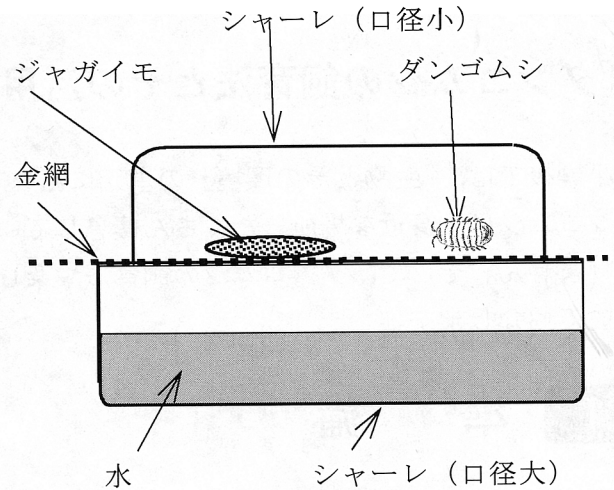


【ガーゼで覆う】

〈脱皮を観察する場合の飼育の仕方〉

- ・ 右図のように水を入れた口径大のシャーレに金網をのせ、その上に口径小のシャーレを置く。
- ・ 中にダンゴムシと餌のジャガイモを入れ、脱皮して金網に残った皮を観察する。

※ 2, 3匹のダンゴムシを入れた方が観察しやすい。



【脱皮の観察容器】

3 活用の仕方

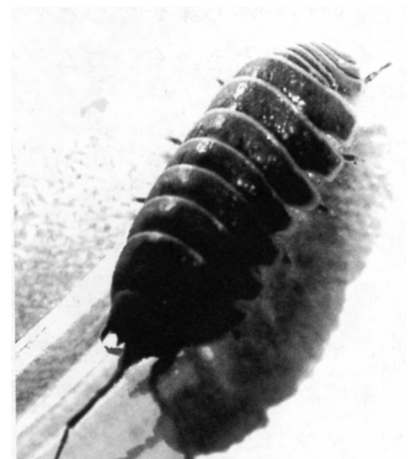
(1) ダンゴムシ探し

学校周辺の「ダンゴムシ生息マップ」を作成する。(生態の観察)

- ① 30cm四方の中にいるダンゴムシの数を数える。
- ② どんなところにダンゴムシがいたか記録する。
(落ち葉や石の下、暗くてじめじめしたところなど)
- ③ 学校周辺の略地図に、ダンゴムシが比較的多くいたところには●を、少なかったところには○をつけ、ダンゴムシ生息マップを作成する。
- ④ ダンゴムシ生息マップから、ダンゴムシはどんな環境のところに多くいるか考える。

(2) ダンゴムシを観察する。(形態の観察)

- ・ ダンゴムシの体全体、口、節の数、足の数などをルーペで観察しスケッチする。



【ダンゴムシの写真】